

花子さんと太郎君は、輸出入について先生と話しています。

太郎：横浜港から輸出される商品では、自動車が多いと聞きました。

先生：そうですね。日本は自動車などの工業製品を多く輸出しています。

太郎：日本から輸出された自動車は、日本のお金で売られているのですか。

先生：海外に輸出された商品は、ドルで売られる場合が多いです。

花子：ドルはアメリカ合衆国などで使われているお金ですよ。テレビのニュースで円高ドル安や円安ドル高という言葉聞いたことがあります。

太郎：円が高くなったり、安くなったりするのですか。

先生：そうです。1ドルと交換できる金額は、毎日変わります。1ドルと交換できる金額が、120円から100円になるような場合を、円高ドル安になると言います。

太郎：120円から100円になると、円が安くなったように見えますが、どうして円高ドル安と言うのですか。

先生：例えば日本からアメリカ合衆国に旅行に行き、値段が3ドルの商品を買うとします。1ドルが120円のときは、日本のお金にするとその値段は360円になりますが、1ドルが100円になると、その商品の値段は何円になりますか。

花子：300円です。同じ商品を買ったのに、得した気分になります。

先生：そうですね。このような場合、円がドルに対して高い価値になるので、円高ドル安になると言います。円高ドル安になると、海外で買い物をしやすくなるので、日本から海外に旅行に行く人が増えたり、輸入した商品が安くなったりします。

太郎：円高ドル安になると、いいことばかりなんですね。

先生：そうとは限りません。1ドルと交換できる金額が120円から100円になると、アメリカ合衆国で、日本の商品を売ったとき、日本の会社の利益が減る場合があります。

花子：1ドルと交換できる金額が変わると、いろいろなところに影響があるのですね。

〔問題1〕

下線部の「日本の会社の利益が減る」理由を考え、その説明を答えなさい。説明は、1ドルと交換できる金額が120円と100円の場合に、アメリカ合衆国で日本の自動車1台を25000ドルで売り、日本のお金に交換したときのそれぞれの金額を示し、「円高ドル安」と「利益が減る」という言葉を使って、文で具体的に書きましよう。

〔問題1〕

解答

〔問題1〕

25000ドルで自動車を売った場合、

1ドル120円の場合は $25000 \times 120 = 3000000$ 円が日本円での金額になる。

1ドル100円の場合は $25000 \times 100 = 2500000$ 円が日本円での金額になる。

よって、1ドル100円になった円高ドル安時には、同じ25000ドルで車を1台売っても、日本の会社にとっては売り上げが500000円減っているため、利益が減ることになる。